

心臓病へ理解深める

ハートの日 検診や講習会

ハートの日実行委員会（事務局・豊橋ハートセンター内）主催、財団法人成人血管病研究振興財団が主催の「第6回ハートの日」は10日、ホテル日航豊橋ホールで開かれた。会場では、肥満度などのハート検診のほか、救急蘇生（もせい）法講

習会、心臓病相談室、勉強会、講演会などで、循環器疾患に対する予防と健康づくりの大切さを訴えた。今回のハートの日（8月10日）は「健康なハートは食から」「心肺蘇生法とAEDの使い方」をテーマに開催された。

救急蘇生法講習会では、東三河5市と源美町の消防本部救急隊員が講師となり、AEDの使い方方を指導した。会場では、指導を受けながら真剣に蘇生を実践する人の姿が多く見られ、命の重みを伝えていた。

講演会では、家森幸男・京都大学名誉教授が「健康なハートは、1日1膳から」と世界調査からみた食と健康」をテーマに、「健康・長寿を築む地域づくりは、食育を進め、食環境を良くすることが重要」などと語った。また、検診コーナーでは肥満度、血圧の測定、血液、心電図検査なども行われていた。このほか、勉強会、心臓病や食事・栄養の相談、ハートコンサートなどが盛りだくさんのイベントが開催され、約2000人が心臓病予防についての理解を深めた。



心肺蘇生法を学ぶ来場者（ハートの日イベントで）